

～セキュリティ～ 安全で安心して暮らせるまちづくり



有限会社セキュリティヨシダ 前田 裕介

「セキュリティ」の語源は諸説ありますが、もっとも有力なものがラテン語の「secure」から来ているとされています。この言葉はラテン語の接頭辞「se(離れる)」と「cure(心配ごと、気づかい)」の二つの意味合いから成り立っています。やや大ざっぱな解釈ですが、ここから転じて「心配ごとから解放されること」というのが本来の意味です。上記のようにユーザーの心配ごとを解放することを企業理念として、長崎県北部に位置する自然に恵まれた街、佐世保で創業して37年になります。

心配ごとから解放された安全で安心して暮らせるまちづくりを実現するため、社員全員が防犯設備士の資格を有し、電気工事・電気通信工事の2業種をメインに販売・施工はもちろんのこと、レンタルサービスも取り扱い幅広く活躍しております。



ホテルロビー

【コロナ禍での安全のために】

一昨年、新型コロナウイルスによる生活様式の変化により、私たちを取り巻く環境は大きく変化しました。社会環境の変化に対応し、弊社では、サーモグラフィーカメラによる体表面温度計測サービスを開始しました。

AI探知機能を搭載しているカメラで、人物の顔を判別・測定して発熱者を特定できます。これまでのサーマルカメラと異なり、人体の表面温度測定のみに機能を特化させることで、大幅なコストダウンを実現しました。

ただし、性能はきちんと担保されており、温度検知の精度は±0.5℃以下となっています。同時に10名の表面温度測定が可能で、設定値以上の発熱者を見つけると1秒で判別できます。人体の表面温度測定に特化しているため、顔など露出しているところをピンポイントで計測することができます。

また、上記の測定精度だけではなく、マスク未着用の人に対しても検出して注意喚起のアラームを出すことができる機種もあり、万が一に備えての録画機能も現場からでもリモートにおいて也可能となっています。

納入実績と致しましては、自治体や商業施設、学校、病院など不特定多数の出入りされる施設が多くポータブル仕様でレンタルでの利用も可能であるため、イベント会場など短期の利用も喜んでいただいております。

【映像監視システム】

今や企業努力によりさまざまなニーズに合わせてカメラを選べるようになり、ネットショッピングの普及で気軽に購入できることから自治体や企業、店舗に限らず個人でも防犯カメラを設置するケースは増えつつあります。お手軽に購入できるようになり普及した半面、まだまだ防犯カメラに関する情報が少なく、また専門的な部分が多い為、購入後・導入後に「こんなはずじゃなかった。」と弊社にもご相談のお電話をいただくことがあります。

適正なカメラが選択されていなかったり、防犯カメラの性能ばかりに集中して録画機能が不十分だったりと、失敗事例は数多くあります。

私は、防犯設備士「防犯の専門家」としてユーザーのニーズにマッチした選定から施工・保守まで全てご希望に合わせてご対応しております。納入実績と致しましては、官公庁・企業・個人と、とにかく様々なユーザーがご利用されており、リピート率が高く好評価をいただいております。



弊社では上記製品以外にも、自主防犯システムや、入退室管理システム・電気錠・熱線センサー・110番非常通報装置・センサーライトなど、さまざまな製品を取り扱っております。ユーザーのご希望や環境により適切な対応が異なりますので、ご相談に応じた最適なプランをご提案、取り付けから操作方法、保守対応まで充実のアフターフォローを実現しております。

これからも心配ごとから解放されるよう活躍していきたいと思います。